

KEY
PERSON

「第二の人生を歩み始めた弟に刺激を受け
新たな人生を踏み出そうと決意しました」



坂本 恵一

(株) ニューエラ警備保障
代表取締役

仁・義・礼・智・忠・信・孝・悌

坂本社長が警備業での独立を決意したきっかけの一つに、「弟の存在」がある。今年故郷・熊本を離れ、第二の人生を歩み始めた社長の弟。その姿を見て、「自分はこのままでいいのか」と自問自答し、新しい人生を踏み出すため独立を決意した。そんな社長は、弟がもし道に迷い故郷へ戻ってきた時には、自身の会社に迎え入れようと考えている。それは、社長自身が東京での音楽活動を断念し帰郷した時、親戚が経営する会社で受け入れてもらい、支えられ、安心してスタートを切れた経験が忘れられないからだ。「親戚のように、今度は私が弟の支えになりたいのです」——弟を想う兄の気持ちは、きっと遠く離れた弟に届くはずだ。



代表取締役 坂本 恵一

熊本県熊本市出身。高校在学中から音楽活動に打ち込み、卒業後は本格的に音楽の道を志し、上京した。楽曲制作を手掛け、ソロ活動を続ける一方、警備のアルバイトも経験する。母親の入院をきっかけに帰郷し、警備会社に就職し、様々なノウハウを習得。必要な資格を取得した後、警備業で独立を果たした。

これまで培ったノウハウで以て 安全で質の高い警備を提供し 新時代の警備会社を目指す！

2017年4月に設立されたばかりの『ニューエラ警備保障』。同社の坂本社長は熊本市を拠点に、これまで培ったノウハウで以て、より安全で質の高い警備を提供するべく奔走している。本日は、熊本県出身の女優・島田陽子さんが同社を訪問。「新時代の警備会社」を目指す社長に、様々なお話を伺った。

音楽で夢を叶えるため上京するも 帰郷し、警備業での独立を決意

島田 早速ですが、坂本社長のこれまでの歩みから伺います。ご出身はどちらですか。

坂本 ここ熊本県熊本市の出身です。高校時代はロックバンドを結成し、音楽活動に打ち込んでいましたね。高校卒業後、音楽で夢を叶えるため上京。しばらくバンド活動を続けていましたが、解散してしまい、心機一転ソロで音楽活動を始めようと決意したのです。

島田 お一人でどのような活動を？

坂本 独学で勉強し、楽曲制作を手掛けていました。当時アニメソングが好きだったこともあり、アニソン歌手を目指して歌唱もしていたのですよ。しかし、音楽だけでは生活できないので日中は交通誘導などのアルバイトに就いていました。その後、もともと体が強くない母が倒れて入院したことを受け、音楽活動にピリオドを打ち、地元に戻ることにしました。それが10年ほど前のことです。

島田 熊本に戻られてからはどのようなお仕事に就かれたのでしょうか。

坂本 おじが経営する食品加工会社でお



警備業務を通じ復興を後押し 今後は福利厚生充実を図る

島田 独立されてから順調に進みましたか。

坂本 今年の4月に事業をスタートしたばかりですが、お陰様で多くの仕事をいただいています。ご存じの通り、現在熊本では2016年に発生した熊本地震からの復興の真っ只中。ですから、復興関連の工事に伴う警備業務が多く必要とされているのです。

世話になりました。けれども、いつまでもおじの世話になるわけにはいきません。そこで、東京で警備のアルバイトに就いていた経験を活かせるのではないかと考え、熊本の警備会社に入社したのです。そちらで現場の仕事や、内勤で管理業務に携わっていました。

島田 入社当初から独立心をお持ちだったのでしょうか。

坂本 いえ。当時は全く考えていませんでした。しかし、昨年8月に勤務先の社長の勧めで、国家資格である「警備員指導教育責任者」の資格を取得することができましてね。警備会社を経営できる資格を得たことから、これまで培ってきたノウハウを活かし、自分の力を試してみたいと独立に踏み切ったのです。

島田 警備業界に骨を埋める決意をされたのですね。独立にあたって、前勤務先の社長からは引き留められたのではないですか。

坂本 そうですね。退職を残念がってくれながらも、快く送り出して下さり、独立を後押ししていただきました。

島田 地震で傷ついた熊本城を見ると、本当に心が痛みます……。復興はまだまだ長い道のりが続きそうですね。

坂本 そうですね。復興にはあと3～4年はかかると言われています。今はまだ、再建不可能な建物の解体工事が全て終わっていない状況でしてね。大きな施設などは建て替え工事に着手しているところもありますが、個人住宅などはまだまだこれからなのです。復興には建物の再建だけでなく、道路や橋といったインフラの再整備も必要なのです。ですから、私共は警備業務を通じて熊本の復興を後押ししたいと考えています。

島田 ぜひ頑張っていたいただきたいですね。スタッフさんは何名ぐらいいらっしゃるのでしょうか。

坂本 現在7名ほどです。ほとんどのスタッフが、前勤務先からの転職者でしてね。私から誘ったわけではないのですが、皆が「一緒にやりたい」と言って、ついてきてくれました。

島田 社長の人望の厚さが窺えますね。まだスタートしたばかりですが、今後の

展望はいかがでしょうか。

坂本 これまでの経験から、大手は別として、中小規模の警備会社になると、福利厚生の整備がまだ不十分だと感じています。その点を踏まえ、私共はしっかり福利厚生を充実させていこうと考えています。また、これからの社会を担う若い世代は、「福利厚生が充実しているかどうか」が仕事選びの大きなポイントになっていると思うんです。ですから、しっかり福利厚生を整備することで、若い人たちに選んでもらえるような会社になりたいと考えています。社名にある、「ニューエラ」とは、「新しい時代」を意味します。福利厚生の充実を図っていくことで、「新しい時代の警備会社」として業界をリードできるような存在になればいいですね。

島田 ぜひここ熊本から、新時代の警備会社を目指して頑張ってください！ 私も陰ながらではありますが、応援させていただきます。

(2017年7月取材)



島田 陽子

(女優)

警備業を手掛けられている経営者の中でも、坂本社長は年齢的にお若いですから、その若さを強みに警備業界をリードするような会社に成長させてほしいですね。熊本地震の復興関連工事の警備でお忙しいかと思いますが、お体には充分ご留意いただいて、ぜひ熊本の復興を後押しして下さい！